

2019. 4. 15

アルケミストの小部屋

「正しい失敗の法則」から「カエルの楽園」まで

このブログでは4つの書籍、①「正しい失敗」の法則、②かもめのジョナサン、③チーズはどこへ消えた？、④カエルの楽園を取り上げた。

人生いかに生きるべきか？を問うとき、その質問の前提として「思考する自分」「実行する自分」がいる。この前提がなかったならば、「人生いかに生きるべきか？」の問いは表面的な、極めて安っぽいものになることだろう。

自分の生き方について真剣に考え、そしてその考えを実行に移してみる。その結果は？ 当然のことながら 10 の試みが 10 成功するはずはない。世間では一般に千三つなる言葉もあり、1000 回試みてその中で成功するのは僅かに 3 回だけであるという意味である。

しかしながら挑戦なくして成功なし、というのは真実である。自己実現のためにはよく考え、実行する。その結果を見て軌道修正を加えて再度実行する。高みに登るためにはこの PDCA の繰り返しが重要となる。

「正しい失敗」の法則とは言いえて妙であるが、自身の考えた戦略なり戦術のどこが間違っているかを知るために、失敗は多くの情報を提供してくれる、。何もしない人には失敗がないので永遠に現状維持、悪くすると退化である。

書籍『「正しい失敗」の法則』より私なりに特に重要と思う部分を下に抽出した。そのキーワードにまとめると、自分にとって何が重要かを考えよ、その分野で一番となれ、そのためには挑戦する心を忘れるな、自分が活性化できる環境を整えよ、となる。戦略を持って果敢にチャレンジ、である。

「かもめのジョナサン」では、ジョナサンはより高く、より速く飛ぶための練習を日々続けたが、周囲の仲間はジョナサンが何をしようとしているのかが理解できなかった。限界への挑戦を続け、その分野で一番になるという志は達成された。その偉大さはいつかもめ界で認められることになるだろう。「早く来すぎた天才」の感もあるが、仲間内から排斥されたとしてもジョナサン自身は不幸には思っていないのではないだろうか。上で示した、自分が活性化できる環境を整えよ、に従えば、排斥される前に自ら集団を飛び出し、さらに切磋琢磨しあえる集団（仲間）を見つける旅に出ることが「正しい失敗」の法則に当てはまる。

「チーズはどこへ消えた？」は環境が変化すれば、その環境の変化に応じて対処の仕方も変えなければならないということを、少し回りくどいが具体的に説明している。この話は、「正しい失敗」以前の話である。何もしなければ現状維持も難しくなるということを寓話を通して私たちに教えている。

「カエルの楽園」では、悪者のガマガエルに楽園が侵されそうになっているにもかかわらず、楽園に住むカエルたちは、正に「ユデガエル現象」よろしく、少しずつ変化するその状況を大丈夫だと理屈付けし自らに言い聞かせながら受け入れていく。その結果、カエルたちがガマガエルに餌として食われる状況に至ったという話である。この状況に至るまでには、無垢なカエルたちが師と仰ぐ強いリーダーの意見が絶対と考えられていたこともある。要するに、カエルたちはリーダーの言うことを妄信し、自分の頭では何も考えなかったのである。

以上の4書より、現代社会で成功を手にするためにはどうすべきか？を考えると、まず自分自身が何をしたいかを明らかにし、一流になるまでの戦略を構築し、そのための環境をどのように整えるべきかを考え、失敗にもめげずPDCAを回し続ける、ということになる。

書籍『「正しい失敗」の法則』からの下の抜粋はそのための手掛かりとなるだろう。

- p.19 挑戦することを忘れてはいないか。
- p.46 同じ場所で同じメンバーでは何も生まれない。
- p.71 ビジネスで一番大事なことは何が問題なのかを考えることだ。
- p.76 思考力をいかにして養うか？ それは「？」を頭に浮かべることだ。最大の「？」は人との出会いの中にある。違う考え方や違う価値観の人と触れ合うことは「？」の連続だ。
- p.78 自分の得意分野を伸ばせ。一点で光れ。人の能力は、論理力、構成力、暗記力、直観力、計算力、想像力、自己実現力（目標達成力）など。
- p.99 トップクラスの経営者とは、教養の高さもさることながら、その深さも。自分の専門分野以外のことにも造詣が深い。
- p.116 我慢するな。我慢はただなにもせずにそこに留まっているに過ぎない。何一つ挑戦していないのと同じだ。
- p.118 前例がない。以前にやったけど失敗した。・・・
- p.139 学校で学んだことは実社会でも経験することの極々一部である。挑戦して学び続けなければ得られるべきものも得られない。
- p.181 リターンを手に入れるためには、精神的にタフになることが必要。
- p.184 優秀なコンサルタントの条件は、①地頭が良いこと、なかでも数理思考に強いこと、②打たれ強さ、失敗しても立ち上がる精神的強さ。
- p.212 恥こそ学び

「正しい失敗」の法則



PHP
Business School

堀 絃一 (はり・こういち)
ドリームインキュベータ代表取締役会長。
1945年兵庫生まれ。東京大学法学部卒業後、読売新聞経済部を経て、73年から三菱商事に勤務。ハーバード・ビジネススクールでMBA with High Distinction (Baker Scholar) を取得後、ボストンコンサルティンググループ入社。89年より同社代表取締役社長。その後、2000年にベンチャー企業の支援・コンサルティングを行なうドリームインキュベータを設立、代表取締役社長に就任。06年より現職。
著書に、「突破力！」『コンサルティングとは何か』(以上、PHPビジネス新書)、「人と違うことをやれ！」(PHP文庫)、「一流の人は空気を読まない」(角川テーマ21) など多数。



(PHPビジネス新書 212)

「正しい失敗」の法則

2012年4月2日 第1版第1刷発行

著 者 堀 絃 一
発 行 者 安 藤 卓
発 行 所 株式会社PHP研究所
東京本部 〒102-8331 千代田区一番町21
ビジネス出版部 ☎03-3239-6257(編集)
普及一部 ☎03-3239-6233(販売)
京都本部 〒601-8111 京都市南区西九条北ノ内町11
PHP INTERFACE <http://www.php.co.jp/>
装 幀 植 崎 隆 俊
組 版 朝田デザイン・コミュニケーション株式会社
印 刷 所 共同印刷株式会社
製 本 所

© Koichi Hori 2012 Printed in Japan
著「・」本の場合は弊社制作管理部(☎03-3239-6236)へご連絡下さい。
五社弊社負担にてお取り替えいたします。
ISBN:978-4-569-80292-3

内容紹介 (Amazon)

「もっと違う仕事がしたかった」
「あの時ああしておけば……」
「毎日が充実していない」
「10年後の自分が想像つかない」……。

20代、30代ビジネスパーソンは多くの不安や悩みを抱え、前に進めないという。著者は彼らとの本気の対話から、「心の奥底にあるもの」を浮かび上がらせる。そして、「失敗だらけの自分の仕事人生」を赤裸々に語り、ユーモアを交え、実践的なアドバイスしていく。あえて「正しい失敗」をすることで道を切り開く！ コンサルタントのプロが見出した、23の「大逆転の成功ルール」を提案する書。

目次

第1章 今の自分に満足しているか？(君は「これがいい」のか「これでいい」のか；「あの時ああしておけば…」を打ち壊す；「稼ぎ」のライフプラン；一日の時間の使い方を考える)

第2章 思い込みにまみれていないか？（受験コンプレックスがあるか；学びに遅すぎることはない；人との出会いは残業一〇〇時間にも勝る；海を渡る必要性；読書かOJTか）

第3章 その悩みは解決不可能か？（現職への悩み；私の転職遍歴；起業を決意して計算したリスク；君はプライドを捨てることができるのか）

第4章 人生最大の失敗は？（金とは何か；失敗を繰り返すのがコンサルタント；今だから話せる失敗談；失敗しても失ってはいけないもの）

第5章 今、一番やりたいことは何か？（「今」という時代の特徴；恥こそ学び；女性たちよ、大志を抱け；「自分の意見」の作り方；それでも挑戦してみよう；失敗から学ぶ技術）

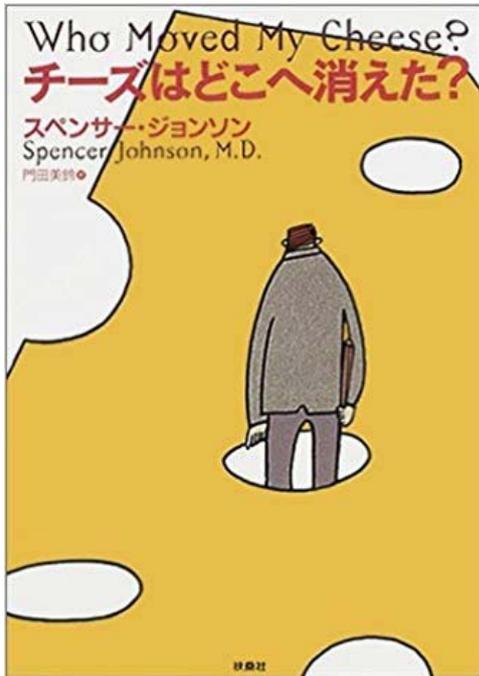


内容紹介 (Amazon)

もっと他人を愛することを学ぶことだ。

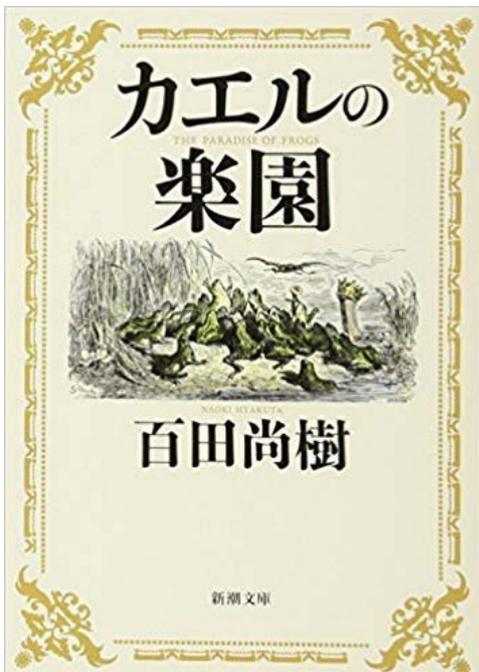
「飛ぶ喜び」「生きる喜び」を追い求めたジョナサン。奇跡の最終章を新たに加え、伝説のかもめがあなたを変える。世界四千万部のベストセラー。

「飛ぶ喜び」「生きる喜び」を追い求め、自分の限界を突破しようとした、かもめのジョナサン。群れから追放された彼は、精神世界の重要さに気づき、見出した真実を仲間に伝える。しかし、ジョナサンが姿を消した後、残された弟子のかもめたちは、彼の神格化を始め、教えは形骸化していく……。新たに加えられた奇跡の最終章。帰ってきた伝説のかもめが自由への扉を開き、あなたを変える！



内容紹介 (Amazon)

この小さな本が世界のビジネスマンを変えてゆく！
迷路のなかに住む、2匹のネズミと2人の小人。彼らは迷路をさまよった末、チーズを発見する。チーズは、ただの食べ物ではなく、人生において私たちが追い求めるもののシンボルである。
ところがある日、そのチーズが消えた！ネズミたちは、本能のままにすぐさま新しいチーズを探しに飛び出していく。ところが小人たちは、チーズが戻って来るかも知れないと無駄な期待をかけ、現状分析にうつつを抜かすばかり。しかし、やがて一人が新しいチーズを探しに旅立つ決心を…。状況の変化にいかに対応すべきかを説き、各国でベストセラーとなった注目の書。



内容紹介 (Amazon)

国を追われた二匹のアマガエルは、辛い放浪の末に夢の楽園にたどり着く。
その国は「三戒」と呼ばれる戒律と、「謝りソング」という奇妙な歌によって守られていた。
だが、南の沼に棲む凶暴なウシガエルの魔の手が迫り、楽園の本当の姿が明らかになる……。